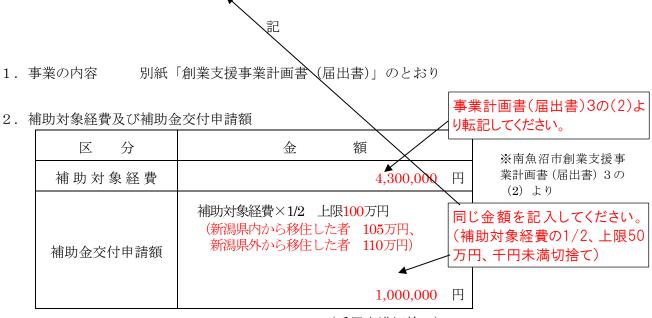
書類を提出する年月日を記載してください。 令和4年12月○○日

(あて先) 南魚沼市長 【これから創業する方】個人名で応募してください。 【既に創業済みの方】創業した企業名、住所を記載し、個人名で応募ください。

(申請者)所 在 地 名 称 代表者名

南魚沼市創業支援補助金交付申請書

令和4年度において、下記のとおり事業を実施したいので、南魚沼市創業支援補助金交付要綱第 5条の規定により、補助金 1,000,000 円の交付を申請します。



(千円未満切捨て)

3. 添付書類

- (1) 南魚沼市創業支援事業計画書(届出書)(様式第2号)
- (2) 市の創業支援事業計画に基づき実施する創業支援セミナー等を受講し、市から受講を修了したことを証明した証明書の写し
- (3) 納税証明書
- (4) 既に創業している場合、法人の方は直近の決算書の写し、個人事業主の方は所得税の確定申告書及び青色申告決算書(もしくは収支内訳書)の写し(創業1年以内で決算書等が添付できない場合は、開業届出書又は法人設立届出書の写し)
- (5) 既に創業し、新規雇用者を伴う場合、雇用保険の加入状況が分かる資料の写し
- (6) 移住した年月がわかる書類(移住事業者)
- (7) 事業の内容がよくわかる説明図 (イメージ図) 等その他の参考資料

支援金融機関名または支援商工会名 : ○○銀行○○支店

金融機関様または商工会様から支援についての署名をもらってください。

南魚沼市創業支援事業計画書(届出書) (提出日: 年月日)

1 創業者の概要

<u> </u>										
ふりがな								-		
氏名						生	三年月日	年	月	日
住所及び連絡先	〒 - TEL(-	-)	FAX(-	-) E — m a	i 1 (@)
現在の所属・職名 (※既に開業済の場 合記載不要)	所属機関・部署	• 職名								
現在の所属機関 所 在 地 (※既に開業済の場 合記載不要)	〒 − TEL(-	-)	FAX(-	-) E — m a	i 1 (@)
移住年月日 (移住事業者)	年	月	日	前住 (移住事	所 業者)					
最終学歴		年	月					2	卒業・卒	業見込
		年	月					(経験年数	年	月)
職歴及び当該事業に		年	月					(経験年数	年	月)
係る事業経験		年	月					(経験年数	年	月)
		年	月					(経験年数	年	月)
今まで習得した 知識・技能等										
セミナー等受講歴	※南魚沼市創業	支援補助金	金交付弱	要綱に定める	創業セミ	ナーを必	 公ず受講してい	っること		

2 創業事業 (計画) の内容

(1) 企業概要(創業予定者は予定する企業の概要)

(予定)会社名	〇〇株式会社	創業予定日(開業日、会		社設立日)	令和3年3月1日予定	
会社所在地	T000 - 0000	0				
(創業予定場所)	新潟県南魚沼市○○					
	出資者名	出資額(千円)		比率(%)	出資者の所属及び職名	
(予定する)出資者	南魚沼 太郎	500		100	申請人本人	
I	去人で創業の場合記	入してください。	D			
	役職名・担当職名	氏名		年齢	主な略歴・職歴	
申請時の組織体制	代表取締役	南魚沼 太	郎	00		
中間はマンルエル政(平川)	営業担当	00 00		00	株式会社○○で営業経験10年	
令和4年3月末の状況	アルバイト	1人				
新規雇用見込数	2 人	内 雇用保険の一般被保険者となる第 (申請人・3親等以内の親族に			1 人	
		協力企業がある場合の協力企業名		協力の具体的な内容		
事業化にあたって協	(有・無	株式会社〇〇〇			開発する製品〇〇の販売協力	
力企業の有無						

(2) 事業の概要

事業名	地元野菜を使った〇〇の製造販売
創業の動機	【創業の動機だけでなく、準備度具合や経営方針など具体的内容も含めて記載してください】
事業の概要	【事業を具体化するために「何を」「どのように」行うのか。事業の継続性や将来の事業構想についても、審査員にイメージが容易にできるような記述を心がけてください。】
取扱商品及び具体的 なサービス	【取扱商品やサービスを具体的に記述してください。】
セールスポイント	【既存市場に対して、どのような特質・用途・提供方法に新規性、独創性、強みがあるか記入してください。また、地域 資源の活用が見込める場合や特許の取得や特殊な技術が見込める場合も記入してください】

	取引先名(所在地等)						
販売先	一般個人(○○地区周辺の会社員) 60%	販売方法や市場・商圏等の把握・分析について					
	株式会社〇〇〇 40%	「販売方法や市場・商圏等の指揮・分析について も記入してください。					
	(店舗は、商店街の路地裏に位置、通勤通学に人通り多い)	一句記入してたさい。					
仕入先	地元の農家(既に交渉済)						
	○○食品(南魚沼市内)						
外注先	なし						

3 今後3ヶ年の事業計画

【個人事業】確定申告期間1月~12月期【法人】決算期

(1) 損益計画		【個人事業】確定申告期間1月~12月期【法人】決算期				(金額単位:千円)			
	項目		第1期(3年3月~4年2月期)		第2期(4年3月~5年2月期)		第3期(5年3月~6年 2 月期)		
①売上高		21,060			21,060		27,378		
②売上原	②売上原価(材料・商品仕入)		7,371		7,371		9,582		
人1午首		-	:個人事業主の れません	4,600		4,600		7,200	
	家賃		2,400		2,400		2,400		
③経費	支払利息		100		100		100		
	その他		2,000		2,000		3,200		
	合計		9,100			9,100		12,900	
利益(①-	利益(①-②-③)		4,589		4,589		4,896		
従業員数 数)	従業員数(内パート・アルバイト 数)		2 人 (1 人)		2 人(1 人)	2 人(2 人)	
計画上必	計画上必要となる知識・技能等								
売上高、売上原価、経費の計算根 拠		【1・2期】①売上高 3,500円×15×26日×12月=1638万円 2,500円×6×26日×12月=468万円 ②原価率 35% ③人件費 従業員1名30万円×12月=360万円 アルバイト800円×4H/日×26日×12月=1009 ④家賃 20万円×12月=240万円 ⑤支払利息 350万円×年○○%=100万円 ⑥その他 光熱水費、宣伝広告費 【3期】①創業時の1.3倍(勤務時の経験)②原価率 創業時の率を採用 ③人件費 アルバイトを従業員に採用 ④その他 諸経費10万円増							

(2)補助対象になる部分の必要資金とその資金調達計画

(金額単位:千円)

2/冊切り外外による印力 シむ女員立とてシ貝立門に	E PI PI		(亚极中位・111)
必要な資金	金額	調達の方法	金額
第4条にかかる経費(増改築費、設備、備品、賃 貸借契約に係る経費、広告宣伝費など) 増改築費 設備購入費 備品購入費 広告宣伝費	3,000 1,000 200	自己資金 親、兄弟、知人、友人等からの借入 (内訳・返済方法) 金融機関からの借入(内訳・返済方法)	800
	100	金融機関からの信人(内部・返済方法) ○○銀行 5年 元金均等 その他(内訳)	3,500
合 計(補助対象経費) ※交付申請書に転記	4,300	슴 計	4,300